

この度は「貫通配達ユニット」をお買い上げ頂きありがとうございました。
ご使用前には取扱説明書を必ずご覧ください。
お読みになった後は大切に保管してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

ご利用の方や他者への危険・損害を防止するための重要な内容ですので必ずお守りください。

●説明を無視した使用方法によって生じる〈危険や損害の程度〉を次の表示で区分し説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡や重大な事故が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「ケガや物的損害が想定される」内容です。

●お守りいただく〈内容の種類〉を次の絵表示で説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示は「禁止」の内容です。
	このような絵表示は必ず行う「強制」の内容です。

ご使用上のお願い

- 貴重品、重要書類、危険物、なま物などの保管はしないでください。
貴重品類の受け取りや保管には適しておりません。
- 雨水が浸入しても濡れにくい構造を採用しております。
防水構造ではありませんので、強風雨や諸条件によっては投函物が濡れることがあります。
- フタや投入扉を閉めるときは静かに閉めてください。
フタや投入扉を強く乱暴に閉めると、音が隣家に響き迷惑になります。
特に深夜などは十分にご配慮ください。
- 投函物は最後まで押し込んで、必ずフタを閉めてください。
雨水進入の原因となります。
- 投函物は本体内部にたまりません。
定期的にご確認してください。
- 投函物を取り出す際は、開閉をおこないますので受取窓に手や指を挟まないように注意してください。
- 固いものでこすったり磨いたりしないでください。
キズ・腐食の原因となります。
- 衝撃をあたえないでください。
故障の原因となります。
- 本体に重いものをのせたり、寄りかかったりしないでください。
故障の原因となります。
- 本体の中に入って遊ばないよう、お子様には特にご注意ください。
本体の中に閉じ込められる恐れがあります。
※万が一、閉じ込められた場合でも受取窓側先端のレバーを下へ押し込み、解錠させ投入扉を開きます。
- 本体にのぼったり、投入扉にぶら下がったりしないよう、お子様には特にご注意ください。
転倒してケガをする恐れがあります。
- 外出時や就寝時などは必ず、受取窓を閉めてください。
- 配達される業者様などの故意、過失、使用上の誤りによる投函物の盗難、紛失については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本体からの第三者の侵入による故意、過失による投函物など盗難、紛失については責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は定期的にお手入れする必要があります

末永くご愛用していただくためには、定期的なお手入れが必要です。
特に工場地帯でススや鉄粉が付着しやすい場所や、鉄道沿線などの
鉄粉が付着しやすい場所、海岸が近く潮風にさらされる場所、
融雪剤をお使いの場所では、お手入れをおこなうとさびを誘発し、
“腐食”や“もらいさび”を起こす場合があります。
特に塩害地域に関してはこまめなお手入れをおすすめします。

※塩害地域とは

- ・直接、潮風の影響を受ける場所
- ・融雪剤の影響、鉄道の鉄粉飛散などの影響を二重に受ける地域
- ・潮風の影響または融雪剤の影響があるような場所で本製品に雨がかかりにくい場所
(製品に付着した塩分が雨によって洗いがされにくい条件)

△ 注意

お手入れの際は、安全のため必ず
ゴム手袋をお使いください。

この製品は板金部品を使用している
ため、細部までお手入れされる場合
は、手を切る恐れがあります。



本体(屋外側)のお手入れ方法

- ・やわらかい布で、から拭きしてください。
- ・汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水拭きしてください。
水分は完全に拭き取ってください。
- ・シンナー・ベンジン・みがき粉・タワシなどを使って清掃することは避けてください。
変色・キズ・塗装ハクリ等の原因になります。
- ・表面パネル(シート貼り仕様)は柔らかい布で、から拭きしてください。
汚れのひどい場合は水拭きしてください。
水分は完全に拭き取ってください。

受取窓(屋内側)のお手入れ方法

砂ホコリ、油分などを長時間付着したまま放置しておくと、シミの原因になります。

・樹脂フレーム部分のお手入れ方法

- ①ぬるま湯に浸した雑巾を固く絞って、ガラス全体を拭きます。
落としにくい汚れには、中性洗剤をぬるま湯で薄めた液に柔らかい布かスポンジを
浸したもので、拭いてください。
- ②汚れを落とした後は水で充分に汚れと洗剤を洗い流し、乾いた布で水分を拭き取ってください。

※注意※

中性洗剤以外のシンナーやベンジンおよびクリーナーは表面を溶かして、樹脂の光沢をなくす
恐れがあります。特に、アセトン、ケトン、エステル、ニトロベンゼンなどの有機溶剤のご使用は
お避けください。

・ガラスのお手入れ方法

- ①ぬるま湯に浸した雑巾を固く絞って、ガラス全体を拭きます。
落としにくい汚れは市販のガラス用の中性洗剤を使ってください。
- ②乾いた新聞紙で輪を描きながら拭きます。
新聞紙のインクにより、ピカピカになります。

窓の注意事項

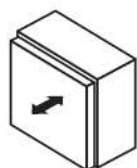
- 投函物を取り出した後は必ず受取窓をしっかり閉めてください。
屋外からの侵入や開いた受取窓によりケガをする恐れがありますので、投函物を取り出した後は
必ずロックが掛かっていることを確認してください。
- 高熱電源を近づけないでください。
ストーブやアイロンなどの高温物や高熱電源の器具を接触させたり、
近づけすぎたりしますと受取窓の変形やガラスの熱割れ現象が発生しますので、
サッシと熱器具類の位置や距離には充分注意してください。
- 薬品に対してご注意ください
樹脂サッシはプラスチックの中でも特に酸やアルカリに対して強い性質を持っていますが、
有機溶剤(アセトン、ケトン、エステル、ニトロベンゼンなど)を含む薬品が触れると変質する
恐れがありますのでご注意ください。
- 乱暴な取り扱いはおやめください。
サッシの損傷だけでなく、ケガの恐れもありますので、以下のような取り扱いはしないでください。
 - ・乱暴な開閉はしないで、静かに開閉してください。
 - ・受取窓にぶら下がったり、寄りかかったりしないでください。
 - ・ガラスに物をぶつけないでください。
- ガラスの熱割れにご注意ください。
次のようなことをすると、ガラスに熱をこもらせて「熱割れ」の原因となります。
 - ・ガラスの内側に紙などを貼ったり、ペンキなどを塗ること
 - ・ストーブ等の放射熱を直接ガラスに当てること
 - ・カーテン、タンスなどをガラスに密着させること
- 結露が発生した際は、結露水を拭き取ってください。
高断熱・高气密窓のため、結露の発生はしにくくなっておりますが、環境条件によって結露が
発生する場合があります。その際は、結露水を拭き取ってください。
結露水を放置しておくと、建物を損傷させる原因にもなり、カビ・ダニの発生の原因にもなります。
- 受取窓の開閉はレンジファンの電源を切るか、レンジファン使用時には注意して開けてください。
レンジファン使用時には勢い良く受取窓が開き、故障やケガをする恐れがあります。
- サッシを閉める際は必ず、「カチッ」と音が鳴るまで押し込んで閉めてください。
「カチッ」と閉めないと、開きっぱなしになったり、防犯性に問題が出たりします。

扉の調整方法

丁番の固定ねじは扉の開閉によりゆるむ場合があります。

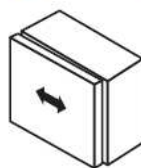
扉の脱落、ガタつきを防ぐため、扉の**本体固定ねじ**を定期的に確認し、締め込んでください。

締め込みは必ず手回しドライバーを使用してください。また、扉の位置を調整する場合は下記を参照ください。



前後調節

本体固定ねじを緩め、扉を前後に動かし適当な位置を選び、しっかりねじを締めます。



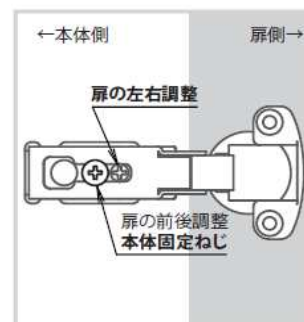
かぶせ量調節 (扉の左右調整)

扉の左右調整ねじを右に回すと、かぶせ量が少なくなり、左に回すと多くなります。操作は本体固定ねじを締めたまま行います。



傾き調節

扉の左右調整ねじを左右に回すことにより行います。操作は本体固定ねじを締めたまま行います。



アフターサービスについて

●修理サービス

お買い求めの販売店または工事店にお申し付けください。

●アフターサービスについてご不明な場合

お買い求めの販売店または、支店へお問い合わせください。

本製品の保証及び免責事項内容について

1. 保証期間

お買い上げ日より1年間です。

2. 保証内容

保証期間中に正常な使用状態において、万一製造上の問題により故障が生じた場合には、当社にて無償で交換いたします。

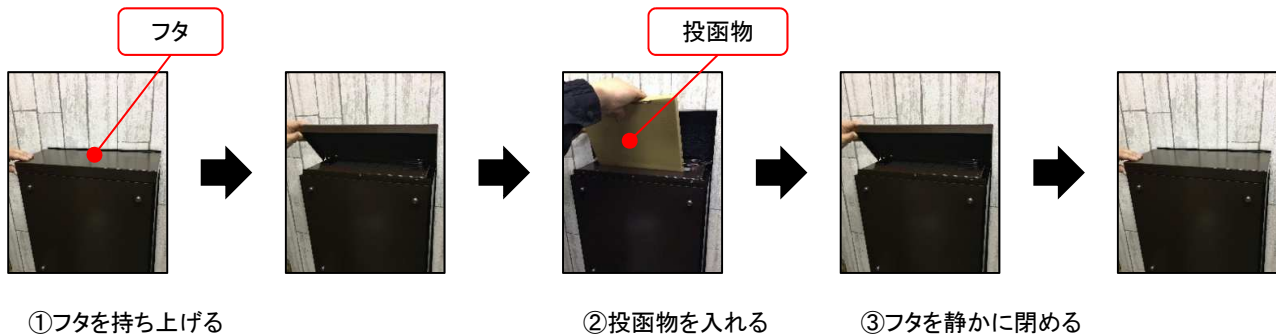
保証期間内であっても次のような場合は有償修理となります。

- 1) 本来の使用目的以外の用途で使われた場合や異なる使用方法による不具合、損傷、損害。
- 2) 取扱説明書やカタログ、表示ラベル等に記載された使用方法及び注意事項内容の不励行による不具合、損傷
(例: 扉や本体への荷重過多による破損や変形など)。
- 3) 当社の手配によらない第三者の加工、組立、施工、管理、メンテナンスなどの不備による不具合
(例: 中性洗剤以外を使用したクリーニングや工事中の養生不足による変色、取り付け寸法違いなどによる性能低下、腐蝕、傷など)。
- 4) 建築躯体の変形など当該商品以外に起因する不具合、損傷。
- 5) 商品又は部品の経年変化(消耗・摩耗、ネジやボルトの緩み)や経年劣化
(樹脂部品や塗装等の退色やひび割れなど)、又はこれらに伴う不具合、消耗品の損傷、故障や劣化。
- 6) 商品本来の性能を超えた環境下に設置された場合の不具合
(例: 耐風圧・積雪に対する強度、凍結や低温・高温環境による不具合など)。
- 7) 空気環境や雨水に含まれる成分に起因するもらいさびや腐蝕、塗料の剥離などの不具合(海岸地帯での潮風や塩分を含んだ雨水、融雪剤、温泉地帯で発生する各種ガス、自動車や給湯器、工場、ごみ焼却場などから出る煤塵、煤煙、亜硫酸ガス、鉄道、幹線道路沿いや工場周辺などの大気中に含まれる土砂、粉塵、金属粉等が付着して発生するもらいさびや腐蝕、塗料の剥離、樹脂部品等の変質やひび割れなど)。
- 8) 鼠、昆虫などの小動物の害、蔦や蔓、根などの植物の害による不具合、損傷。
- 9) 天災やその他の不可抗力
(暴風、豪雨、洪水、津波、落雷、地震、地盤沈下、火災、噴火)に起因する不具合、損傷、盗難、損害。
- 10) 所有者様や第三者による不当な修理、加工、改造等に起因する不具合。
- 11) 犯罪などの不法行為に起因する不具合、損傷、盗難、損害。

投函について

ポストの場合

「フタ」を持ち上げ、「投函物」を入れます。
投函後、フタを静かに閉めてください。

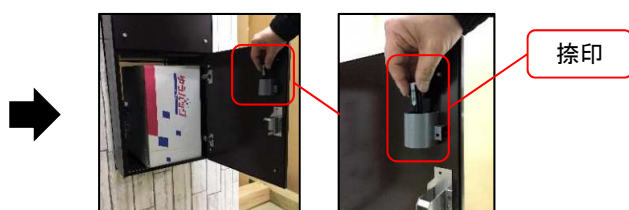


宅配ボックスの場合

「投入扉」の「つまみ」をつかみ、「投入扉」を手前に引いて開けます。
「投函物」を入れ、「投入扉」の裏側の「捺印」を使い、伝票（配達票・受領票など）に受領印を押します。
押印後、「投入扉」が開かないように「レバー」の投入扉側先端を下へ押し込み、「投入扉」を
静かに閉めます。

※「投入扉」を閉めた後は、「投入扉」が閉まっていることを必ず確認してください。

開いてしまった場合は確実に「レバー」先端を押し込み、「投入扉」を閉めて再度確認してください。



受取窓の開閉方法

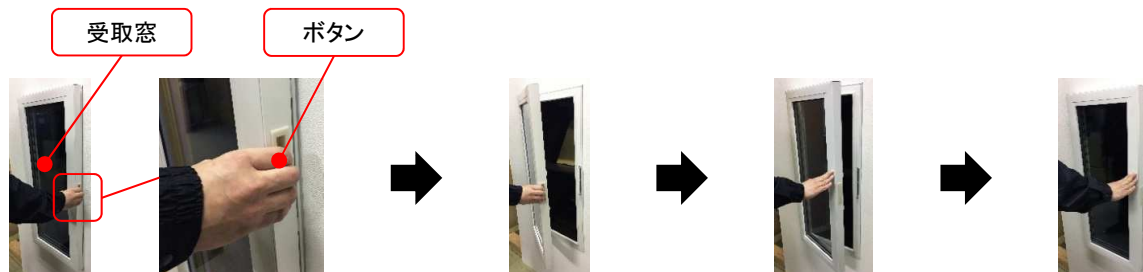
次の行為がある場合は「受取窓」を開閉します。

- ・「投函物」を受け取る場合
- ・「受取窓」や「本体」内部をお手入れする場合

「受取窓」のボタンを押し込みながら、「受取窓」を手前に開きます。

「受取窓」が「カチッ」と音が鳴るまで押し込んで閉めます。

※確実に「受取窓」を閉めてください。



①「受取窓」のボタンを押し込みながら、「受取窓」を手前に開ける

②「受取窓」が「カチッ」と音が鳴るまで押し込んで閉める

投函物の受け取り方について

ポストの場合

「受取窓」のボタンを押し込みながら、「受取窓」を手前に開きます。

投函物を取り出し、「受取窓」が「カチッ」と音が鳴るまで押し込んで閉めます。

※確実に「受取窓」を閉めてください。



①投函物を確認する

②「受取窓」のボタンを押し込みながら、「受取窓」を手前に開ける



③投函物を取り出す

④「受取窓」が「カチッ」と音が鳴るまで押し込んで閉める

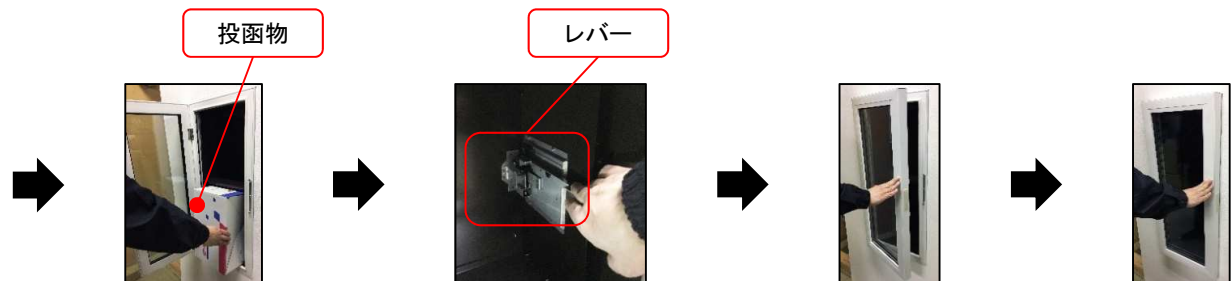
宅配ボックスの場合

「受取窓」のボタンを押し込みながら、「受取窓」を手前に開きます。
 投函物を取り出します。
 「投入扉」を解錠するには「受取窓」側から「投入扉」側へ手を伸ばし、レバーの「受取窓」側先端を下へ押し込みます。
 「受取窓」が「カチッ」と音が鳴るまで押し込んで閉めます。
 ※確実に「受取窓」を閉めてください。



①投函物を確認する

②「受取窓」のボタンを押し込みながら、「受取窓」を手前に開ける



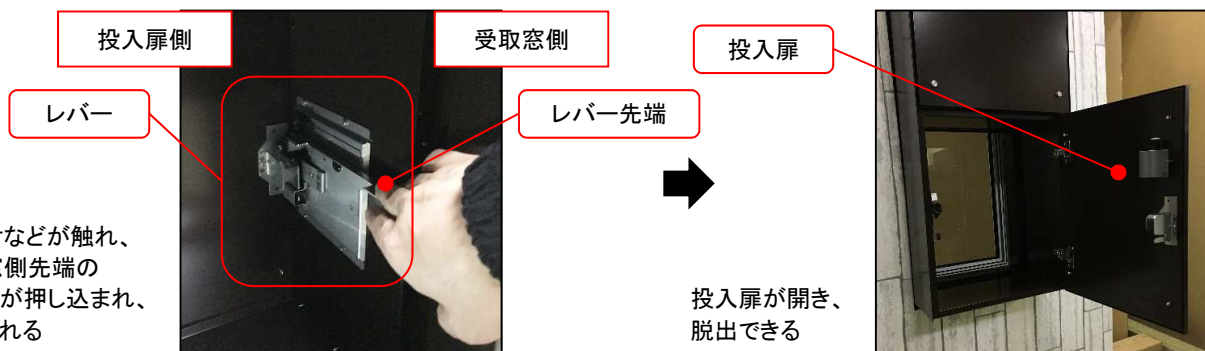
③投函物を取り出す

④「受取窓」側から投入扉側へ手を伸ばし、レバーの「受取窓」側先端を下へ押し込み、解錠する

⑤「受取窓」が「カチッ」と音が鳴るまで押し込んで閉める

非常脱出方法について

万が一、お子様が本体の中へ閉じ込められた場合は受け入れ側の投入扉を開けて脱出します。
 ※投入扉内側レバーの受取窓側先端が手や肘などが触れ、レバー先端が押し込まれると解錠され、投入扉が開き脱出できます。
 ※防犯上、本体の中から受取窓を開けることはできませんのでご注意ください。



手や肘などが触れ、
受取窓側先端の
レバーが押し込まれ、
解錠される

投入扉が開き、
脱出できる

株式会社 ナスタ

本 社 〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング2F Tel: 03-6779-8775(代) Fax: 03-6779-8776
 東京支店 〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング2F Tel: 03-6779-8772(代) Fax: 03-6779-8773
 大阪支店 Tel: 06-6858-5671(代) 仙台支店 Tel: 022-207-4700(代) 横浜支店 Tel: 045-474-0631(代) 広島支店 Tel: 082-249-4651(代) サイン課 Tel: 03-3660-1781(代)
 札幌支店 Tel: 011-741-2250(代) 北関東支店 Tel: 048-553-1751(代) 名古屋支店 Tel: 052-242-2272(代) 福岡支店 Tel: 092-472-1088(代)
 Web: www.nasta.co.jp/ Mail: info@nasta.co.jp